

とかしきなおみ（自民党副幹事長・
衆議院議員・薬剤師）活動報告 64
命のリレーを増やすために……臓器
移植を考える



大林夏奈（なな）ちゃんのお父様が
来所されました。

「ななちゃん」は、生後2カ月を
目前に「拡張型心筋症」を発症しま
した。余命1週間という宣告も受け
た「ななちゃん」でしたが、人工心
臓を装着し、この7月に何とか1歳
の誕生日を迎えることができました。
しかし、人工心臓は短期的な処置
のため、命に関わる血栓による脳梗
塞や感染症のリスクを常に背負って
います。一刻も早く心臓の移植をし
なくては「ななちゃん」の命がつか
ない。海外での移植手術を受けた
ので協力してほしいとの事でした。

過日、私の地元事
務所に新潟からお子
さんの入院に付き

添って吹田市に引ッ
越してこられた、

そのお父様や「ななちゃんを救う会」
の皆様の活動に心打たれ、現在はS N
Sの活用やマスコミの皆さんへ協力を
お願いし、一人でも多くの方に温かい
支援をしていただける様に力を尽くし
ているところです。

「ななちゃん」の件を受けて、20
09年に国会議員として採決に携わっ
た「改正臓器移植法」について厚労省
にも調査を依頼し、改めて現在の状況
を検証しました。「改正臓器移植法」
は死とする選択肢の一つに脳死を加え
る事により、希望する人が国内で臓器
移植をしやすい環境をつくろうという
法案でした。

しかし「脳死を以って人の死として
よいのか」という意見に押され国会
は大混乱に陥り、4案も乱立すること
になりました。わが党では直接的に人
の生死に関わる法案なので党議拘束は
無く、それぞれの議員が自分の判断で
一票投じることになり、私も悩みに悩
み、決断するにあたってはとても大き
な責任を感じました。

最終的には私も賛成票を投じた
「改正臓器移植法」が採決され、未
来に向かつてわが国での臓器移植が
増えていくことに期待しました。

現状は、2010年の109件か
ら法施行後数年は微増の傾向が見ら
れましたが、現在は59件に減ってい
るのです。さらに、15歳以下の臓器
提供は、5年経って僅か7例しかあ
りません。さらに調べてみると様々
な原因があるのでしようが、臓器提
供の意思表示があっても移植が実現
しなかった事例が8割を超えています
（日本臓器移植ネットワーク調べ）。
医療体制の不備なのか、周知徹底
がなされていないのか、移植までの
推移に隠された壁があるのではない
か……苦悩しながら採決をした議員
として、私も運用・体制作りに大き
な責任を感じます。
制度に活力を吹き込むのも政治家
の大切な仕事です。現状を改善して、
ひとつでも多くの命のリレーが続け
られように努力して参ります。